

令和2年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域		
講習の名称	【選択】期待値・平均値から見る確率・統計及び整数の性質		
開設日	令和2年12月6日(日)	講習時間	6時間
主な受講対象者	小・中・高教諭(数学)	受講人数	20人
講習の形態	対面授業(※備考欄要確認)	会場	佐賀大学:教育学部1号館2階101講義室
担当講師	西 晃央		
講習のねらい・到達目標	“平均”は対象を見る視点としての重要性だけでなく、操作の単純性をもたらす汎用性も高いことを認識する。		
講習内容	平均値は確率では期待値、統計ではデータの中心的な値であるが、バラツキ・歪み・相関もある種の平均値である。これらを通してデータ分析の基本的思考法を学ぶ。また、期待値操作の加法性・同次性から得られる組合せの問題や整数に関する応用事例を考察する。		
評価方法・基準	筆記試験		
	認定試験に関して	講習開設者のホームページにて試験問題を手し、解答を受験者本人が自署にて行う。提出は郵送にて行う。	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	西 晃央	簡単な確率変数と確率分布、及びその平均値(期待値)。確率変数の和の期待値	
II 10:45~12:15 (90分)	西 晃央	データの要約:代表値、散布度、歪度、etc	
12:15~13:15	昼休み		
III 13:15~14:45 (90分)	西 晃央	包除公式と小・中・高での組合せの問題及び整数の性質	
IV 15:00~16:30 (90分)	西 晃央	筆記試験	
持参するもの			
予習について			
受講上の注意	<p>※政府の終息宣言が発せられた場合は、対面講習で実施、継続している場合は、延期もしくは不開講の可能性もあります。</p> <p>令和元年度の講習「【選択】中学校・高等学校で学ぶ確率統計学の考え方:確率モデルとデータ分析」と一部内容が重複します。</p>		